令和８年９月１８日

学校運営協議会活動状況報告書

本校における学校運営協議会の活動状況について、次のとおり報告します。

１　活動状況

(1) １～９年生全学級の授業参観を行った。
(2) 学校長が学校教育目標実現のための具体的方策（グランドデザイン）に沿って、これまでの活動について説明を行った。
(3) 各委員から授業参観の感想、質問やご意見、要望等を伺った。
(4) 「地域とともにある学校づくりの推進」をテーマに熟議を行い、学園祭に多くの観客を呼び込むための方策等について協議し、周知方法などのご意見やご助言をいただいた。

・夏季休業中に導入された電子黒板が、タブレットと同様、授業の中で活用されている。ＱＲコードを読み取って授業の振り返りを行う生徒の姿は、操作に慣れていることを感じさせた。ＩＣＴの活用は今後も続けてほしいが、「文字を書く」ことも大事にし、「デジタル」と「アナログ」をバランスよく併用し、教育効果を高めてほしい。
・学校現場でのＩＣＴを活用した授業の様子を我々以外の大人たちも把握しておきたい。機会があれば、参観したいものである。
・自分でまとめた資料でありながら、友達に説明する際、正しく読めてない場面があった。この後の授業で指導されると思うが、ＩＣＴを使用することで調べ学習が容易にはなったが、まとめたつもり、分かったつもりに陥らないように気を付けたい。
・ＩＣＴの活用は、授業の準備時間の短縮につながっていると感じた。
・自分の思いを言葉にして表現する９年生の姿がすばらしかった。また、体育の授業で運動を思いっきり楽しむ７年生の姿も印象的であった。体力の向上にも励んでほしい。
・７月実施の全校道徳、１２月の実施も楽しみである。

「地域とともにある学校づくりの推進」熟議
◇学園祭に多くの観客を呼び込む手立て◇
・学校への送迎手段を確保するのは、現実的に難しい。まずは、地域住民に周知を図ることが大事である。各自治会長に差し上げている学校祭の案内を回覧している地域もあるようだ。案内文に、回覧お願いの一文を添えてはどうか。
・回覧もよいが、各地域の世帯に一枚、紙媒体の案内を差し上げることはできないだろうか。手元にあると、気に掛けてもらえると思う。

２　成果と課題

・タブレットや電子黒板などのＩＣＴを効果的に活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指し取り組んでいる授業実践の成果について、授業の中で生き生きと活動する児童生徒の姿を通して、理解を深めていただくことができた。
・児童生徒、教職員、地域が一体となって取り組む行事や学習活動とその成果についても十分な理解が得られた。また、今後も様々な方面からのご協力とご支援をお願いした。
・地域の活性化に貢献するべく、学校の取組や情報を保護者世帯以外にも、発信したり、周知してもらったりする必要がある。いただいたご意見やご助言を基にその方策を具体的に考えていきたい。